

令和5年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(公民科)科目：(政治・経済) 対象：(第3学年 1～5組)

科目担当者：(1～5組：古橋)

教科・科目の 指導目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させる。基礎・基本的な内容を大切にし、物事を主体的に考え、社会で公正な判断力をもって生き抜く力を身に付けさせる。
----------------	--

	高校入試等の分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	・中学校社会科全体の基礎的・基本的な知識と理解が不足しており、また要旨を簡潔にまとめる力に課題が見られる。公民的分野の正答率は低く、中学校3年次までの学習が定着していない。	・小・中学校段階での学習内容を復習しながら高校段階での学習を並行していく。基本的な政治的知識を身につけさせながら、単調な暗記にならないためにも、生徒の興味関心を引くような題材を用意する。また、自ら考え主体的に社会に関わる素養を培わせる。 ワークノートやICTを活用し、グラフや図表の読解など自主的に学習活動に取り組めるよう工夫する。定期的に提出させることで学習習慣を定着させる。	・本校生徒の実態に応じた指導方法になるよう、指導法を改善をしていく。講義形式だけの授業形態では生徒が興味関心を維持することが難しい状況があり、作業的な学習や発表、グループディスカッションなどの授業形態を適宜取り入れ、生徒の興味関心を刺激し、社会に参画する意識を持たせられるよう工夫を行う。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			